

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター業務実績報告書 作成要領（案）

この要領は、東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会（以下「試験研究分科会」という。）が定めた「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの業務実績評価方針及び評価方法について」に基づき、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「法人」という。）が作成し、試験研究分科会に提出する業務実績報告書（以下「業務実績報告書」という。）の記載方法等について定めるものである。

法人は、この作成要領に基づき業務実績報告書を作成するものとする。

1 全体的な留意事項

- ・事業年度の業務実績評価（事業年度評価）、中期目標期間の最終年度の前一年度に行う評価（事前評価）及び中期目標期間の業務実績評価（中期目標期間評価）は、業務実績報告書等を基に試験研究分科会が実施することから、法人は自己点検・評価を着実に実施した上で作成すること。
- ・年度計画及び中期計画の達成状況をより具体的に表すため、業務実績はできる限り数値で示し記載すること。
- ・数値で示すことが困難な場合には、達成状況が分かるよう具体的に記載すること。
- ・法人による都民への説明責任の観点から、簡潔・明瞭かつ分かりやすい表現で記載すること。

2 法人の概要

（1）現況

原則として各事業年度の年度末（中期目標期間の業務実績報告書は、中期目標期間最後の年度末）における以下の内容を記載すること。

① 設立目的

② 事業内容

③ 事業所等の所在地

④ 沿革

⑤ 役員の状況

理事長名、理事名、及び監事名（非常勤を含む。）

⑥ 資本金の状況

⑦ 職員の状況

成23年3月31日現在における職員数。

⑧ 組織

（2）基本理念

（3）当該中期目標期間の取り組み目標

（4）法人運営

3 全般的な概要

- ・項目別実績を踏まえ、当該事業年度の業務全体の実施状況を総括的に記載すること。
- ・中期計画で定めた数値目標の達成状況など、中期計画の全体的な進行状況についても記載すること。
- ・中期目標期間の業務実績報告書と、最終年度の業務実績報告書の内容は、同一のもので構わない。

4 項目別実績

(1) 事業年度の業務実績報告書

- ・評価項目ごとに、当該事業年度における業務実績を記載するとともに、年度計画の達成状況を以下のS・A・B・C・Dの5段階で自己評価すること。

S…年度計画を大幅に上回って実施している

(評価項目において、年度計画を大幅に上回って実施している、あるいは対外的に高く評価されるような成果をあげている。)

A…年度計画を上回って実施している

(評価項目において、年度計画を上回って実施している、あるいは困難な目標を設定し、それを達成している。)

B…年度計画を概ね順調に実施している

(評価項目において、年度計画に記載された事項をほぼ100%計画通りに実施している。)

C…年度計画を十分に実施できていない

(評価項目において、年度計画を計画どおり実施できていない事項があり、実績、成果も計画を下回っている。)

D…業務の大幅な見直し、改善が必要である

(評価項目において、実施状況が年度計画を大幅に下回っているか、または年度計画を実施していない。)

- ・定量的な実績については、数値等を用いて記載するとともに、年度計画の達成状況や過年度の実績との比較が分かるよう、必要に応じて図表を用いること。
- ・定性的な実績については、具体的な内容が分かるように実績の詳細を記載すること。
- ・以下に掲げる事項について、当該事業年度の実施状況を、特記事項として簡潔に記載すること。

- ① これまでの評価結果を踏まえた改善に向けた取組み
- ② 特色ある取組みや特筆すべき優れた実績を上げた取組み
- ③ 遅滞が生じている取組みやその理由
- ④ 過年度の実績との数値による対比

- ・業務実績報告書の様式は、本要領の別紙1として指定する。

(2) 事前評価に係る業務実績報告書

- ・評価項目ごとに、当該中期目標期間の初年度目、2年度目、3年度目における業務実績を記載するとともに、当該事業年度の業務実績報告書に記載したS・A・B・C・Dの5段階の自己評価を記載すること。
- ・業務実績報告書の様式は、本要領の別紙2として指定する。

(3) 中期目標期間の業務実績報告書

- ・評価項目ごとに、当該中期目標期間における業務実績を記載するとともに、中期目標の達成状況を以下のS・A・B・C・Dの5段階で自己評価すること。

S…中期目標の達成状況が極めて良好である

(評価項目において、中期計画を大幅に上回って実施している、あるいは対外的に高く評価されているような成果をあげている。)

A…中期目標の達成状況が良好である

(評価項目において、中期計画を上回って実施している、あるいは困難な目標を設定しそれを達成している。)

B…中期目標の達成状況が概ね良好である

(評価項目において、中期計画に記載された事項をほぼ100%計画通り実施している。)

C…中期目標の達成状況がやや不十分である

(評価項目において、中期計画を計画どおり実施できていない事項があり、実績、成果も計画を下回っている。)

D…中期目標の達成状況が不十分であり、法人の組織、業務等に見直しが必要である

(評価項目において、実施状況が中期計画を大幅に下回っているか、または中期計画を実施していない。)

- ・中期目標に対する5年間の実績について、各年度の特徴ある取組みや特筆すべき優れた実績を上げた取組み、改善を要する取組み等の特記事項や、中期計画で数値目標を設定した事項の実績等を、総括的かつ簡潔に記載すること。
- ・定量的な実績については、数値等を用いて記載するとともに、中期目標の達成状況や当該中期目標期間の実績の推移が分かるよう、必要に応じて図表を用いること。
- ・定性的な実績については、新規事業の開始や取組みの強化・拡充、業務の改善などの経過が年度毎に時系列で分かるよう、必要に応じて図表を用いること。
- ・業務実績報告書の様式は、本要領の別紙3として指定する。

中期計画【項目別評価単位】	年度計画【項目別評価単位】	自己評価	平成○年度 年度計画に係る実績	特記事項
I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置				
1. 新製品・新技術開発や新規事業分野への展開のための事業化支援の推進				
(1) 製品化支援				
<p>個々の製品や技術開発に関する支援に加え、企画から試作・評価、売り方までを視野に入れた総合的なシステムデザイン支援に必要な設備、機器及び体制を整備する。</p>				
<p>また、財団法人東京都中小企業振興公社の経営支援部門等他の機関との連携も活用して、製品化や中小企業のブランド確立等を支援する。</p>	<p>①技術面と経営面双方からの効果的かつ効率的な中小企業等への支援を実施するため、財団法人東京都中小企業振興公社との業務協定に基づき連携事業を実施する。</p>		<p>・ 定量的な実績については、数値等を用いて記載するとともに、年度計画の達成状況や過年度の実績との比較が分かるよう、必要に応じて図表を用いること。 ・ 定性的な実績については、具体的な内容が分かるように実績の詳細を記載すること。</p>	<p>・ 以下に掲げる事項について、当該事業年度の実施状況を、特記事項として簡潔に記載すること。 ① これまでの評価結果を踏まえた改善に向けた取組み ② 特色ある取組みや特筆すべき優れた実績を上げた取組み ③ 遅滞が生じている取組みやその理由 ④ 過年度の実績との数値による対比</p>
<p>・ 年度計画の達成状況を項目ごとに以下の S・A・B・C・D の5段階で自己評価する。 S…年度計画を大幅に上回って実施している A…年度計画を上回って実施している B…年度計画を概ね順調に実施している C…年度計画を十分に実施できていない D…業務の大幅な見直し、改善が必要である</p>		<p>1 A</p>		

中期計画【項目別評価単位】	中期計画にかかる業務実績					
	平成 年度		平成 年度		平成 年度	
	自己評価	業務実績	自己評価	業務実績	自己評価	業務実績
I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置						
1. 新製品・新技術開発や新規事業分野への展開のための事業化支援の推進						
(1) 製品化支援						
個々の製品や技術開発に関する支援に加え、企画から試作・評価、売り方までを視野に入れた総合的なシステムデザイン支援に必要な設備、機器及び体制を整備する。						
また、財団法人東京都中小企業振興公社の経営支援部門等他の機関との連携も活用して、製品化や中小企業のブランド確立等を支援する。	1		1		1	
① システムデザインを総合的に支援する拠点として「デザインセンター」を開設し、プロダクトデザインや試作を中心とした製品化支援及び中小企業のブランド確立等の支援を実施する。	2		2		2	
② 新製品・新技術開発を目指す中小企業に対する支援のため、「製品開発支援ラボ」を設置し、機器利用サービスの提供によるハード面の支援及び産技研職員のソフト面の支援等を実施する。 製品開発支援ラボは中期目標期間終了時までには、試作、IT 等を対象として3室を設置する。 なお、運営については、利用者の利便性を考慮した利用時間の設定を検討する。 また、共同研究の相手企業が利用する共同研究開発室2室を設け、迅速かつ実効性のある研究活動への支援を実施する。	3		3		3	
③ 自社内に十分な試験研究設備及び機器を持ってない中小企業のための機器利用サービスの提供については、需要の高い機器の整備や老朽化した機器の更新を計画的に実施し、平成 22 年度実績 30,000 件以上を目標とする。	4		4		4	
④ 「デザインセンター」や「製品開発支援ラボ」「機器利用」を活用する中小企業に対し、対象となる製品に応じた研究グループ等とのコーディネートや機器利用指導などの支援体制を整備する。	5		5		5	

2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

(1) 新製品・新技術開発や新規事業分野への展開のための事業化支援の推進

ア 製品化支援

〈中期目標〉

機器及び支援体制の整備によって産技研の機能強化を図り、………

中期目標の達成状況を項目ごとに、S・A・B・C・Dの5段階で自己評価する。

評価項目番号	1	自己評価
--------	---	------

中期計画	個々の製品や技術開発に関する支援に加え、………
------	-------------------------

中期計画 期間の実績	<p>・中期目標に対する5年間の実績について、各年度の特徴ある取組みや特筆すべき優れた実績を上げた取組み、改善を要する取組み等の特記事項や、中期計画で数値目標を設定した事項の実績等を、総括的かつ簡潔に記載すること。</p> <p>・定量的な実績については、数値等を用いて記載するとともに、中期目標の達成状況や当該中期目標期間の実績の推移が分かるよう、必要に応じて図表を用いること。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">依頼試験 (中期目標値85,000件)</td> <td>目標</td> <td>77,000</td> <td>80,000</td> <td>85,000</td> <td>85,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>81,727</td> <td>96,288</td> <td>100,842</td> <td>100,482</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機器利用 (中期目標値30,000件)</td> <td>目標</td> <td>27,000</td> <td>30,000</td> <td>30,000</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>32,338</td> <td>37,024</td> <td>37,097</td> <td>37,964</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">技術相談 (中期目標値70,000件)</td> <td>目標</td> <td>62,000</td> <td>66,000</td> <td>70,000</td> <td>70,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>76,154</td> <td>81,154</td> <td>78,355</td> <td>85,238</td> </tr> </tbody> </table> <p>・定性的な実績については、新規事業の開始や取組みの強化・拡充、業務の改善などの経過が年度毎に時系列で分かるよう、必要に応じて図表を用いること。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A事業の試行</td> <td>●</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A事業の本格実施</td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>B事業</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>C事業</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>	項目		18年度	19年度	20年度	21年度	依頼試験 (中期目標値85,000件)	目標	77,000	80,000	85,000	85,000	実績	81,727	96,288	100,842	100,482	機器利用 (中期目標値30,000件)	目標	27,000	30,000	30,000	30,000	実績	32,338	37,024	37,097	37,964	技術相談 (中期目標値70,000件)	目標	62,000	66,000	70,000	70,000	実績	76,154	81,154	78,355	85,238		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	A事業の試行	●	→				A事業の本格実施		●	→	→	→	B事業			●	→	→	C事業				●	→
項目		18年度	19年度	20年度	21年度																																																																	
依頼試験 (中期目標値85,000件)	目標	77,000	80,000	85,000	85,000																																																																	
	実績	81,727	96,288	100,842	100,482																																																																	
機器利用 (中期目標値30,000件)	目標	27,000	30,000	30,000	30,000																																																																	
	実績	32,338	37,024	37,097	37,964																																																																	
技術相談 (中期目標値70,000件)	目標	62,000	66,000	70,000	70,000																																																																	
	実績	76,154	81,154	78,355	85,238																																																																	
	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度																																																																	
A事業の試行	●	→																																																																				
A事業の本格実施		●	→	→	→																																																																	
B事業			●	→	→																																																																	
C事業				●	→																																																																	